日本女子大学
JAPAN WOMEN'S UNIVERSITY



学園をご支援くださる皆様へ

2025 Annual Report to Donors

2025年度 寄付報告書

2025年度寄付総額

寄付金額

2億5,690万9千円

寄付件数

1,286件

2025年度は、総額2億5,690万9千円、1,286件にのぼるご寄付を賜りました。多くの皆様から本学園に寄せられたあたたかいご支援に、心より御礼申し上げます。

「その他指定寄付金」(4,944万円)と「生徒・学生支援」(4,594万円)には、大学の保護者の会である泉会や一般社団法人日本女子大学教育文化振興桜楓会をはじめ、学園を支えてくださる皆様から、多くのご支援をいただきました。これらは、特色ある学びを支える教育環境の整備や、奨学金などに活用させていただきました。

また、附属校園の新入生保護者の皆様から頂戴した「教育充実資金」(4,525万円)と「学園基金」(1,680万円)は、子どもたちのよりよい学びの環境を整えるために活用されています。

2026年に創立120周年を迎える附属豊明小学校の「記念事業募金」(2,973万円)には、卒業生、在校生保護者、法人の皆様から多くのご協力をいただきました。皆様のあたたかいご支援は、記念事業の実現に向けた大きな支えとなっています。

2025年度から新たにスタートした「教育振興寄付金」(2,659万円)には、日本女子大学創立120周年記念事業にご支援をいただいた卒業生や教職員を中心に支援の輪が広がりました。また、国際交流基金「JWU Global Fund」(1,793万円)とともに、学生の学びと成長を支える教育プログラムの充実に大きく貢献しています。

ご寄付の内訳を見ると、個人の皆様から56%、団体から27%、法人から17%となっており、また件数では個人の皆様からのご寄付が95%を占めています。こうした一人ひとりの皆様から寄せられた幅広いご支援が、学園の教育・研究活動を支える大きな力となっています。

学校別の寄付金額の割合は、大学等61%、高等学校5%、中学校8%、小学校20%、幼稚園6%となっており、大学から附属校園まで、学園全体にわたり幅広いご支援をお寄せいただきました。

あらためまして、2025年度に本学園へお寄せいただいた皆様のご厚志に、深く感謝申し上げます。

これからも、皆様から託されたお気持ちを大切に受け止め、教育・研究の充実や学びの環境整備を着実に進めるとともに、学園のさらなる発展と、次世代を担う人材の育成に努めてまいります。

平素より本学園の教育・研究活動に格別のご理解とご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

日本女子大学は1901年の創立以来、120年を超える歴史の中で、創立者の教育理念を受け継ぎながら、幼稚園から大学・大学院に至る一貫教育に加え、生涯にわたる学びの機会を提供し、多くの人材を社会に送り出してまいりました。

変化のスピードが加速し、将来の予測が困難な時代にあって、本学園は「誰もが生涯を通して学び成長し続けることができる社会を創る」というビジョンのもと、一人ひとりの可能性を育み、新たな価値を創造しながら社会に貢献する人材の育成に努めてまいります。

2025年度には、1,286件、総額2億5,690万9千円にのぼるご寄付を賜りました。皆様からのご厚志は、本学園の教育・研究活動の充実と発展を支える大きな力となっております。ご支援を賜りました皆様に、心より感謝申し上げます。

皆様のご期待にお応えできるよう、教育・研究のさらなる充実を図るとともに、社会への貢献に尽力してまいります。今後とも本学園への変わらぬご理解とご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

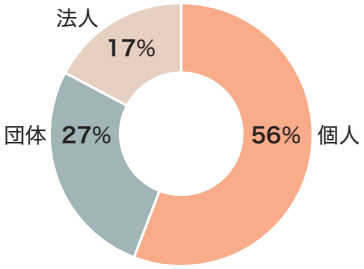
学校法人 日本女子大学
理事長　今市 涼子



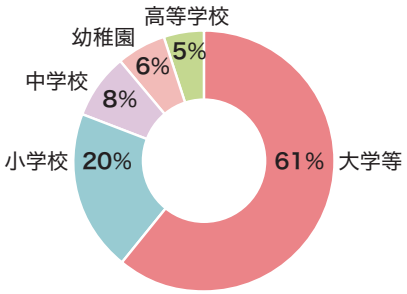
寄付種別金額・件数

件数	金額	寄付金額(千円)	件数
34	その他指定寄付金	49,436	34
38	生徒・学生支援	45,943	38
242	教育充実資金	45,245	242
176	小学校120周年記念事業募金	29,725	176
184	教育振興寄付金	26,593	184
275	JWU Global Fund(国際交流基金)	17,927	275
287	学園基金	16,795	287
11	奨学寄付金	10,190	11
1	遺贈・相続財産	7,000	1
4	使途指定なし	2,530	4
3	寄付授業・寄付講座	2,500	3
17	生涯学習	1,846	17
13	学園整備	1,130	13
1	社会連携	50	1
		計 256,909	計 1,286

寄付者(金額)



学校別(金額)



● 活動のご報告

皆様からのご支援は、学園の施設・設備の整備をはじめ、より良い学びの環境の実現や、
学生の成長を支える教育プログラムの充実などに、有効に活用させていただいております。

01 国際交流

創立者の理念を受け継ぎ、地球的・国際的な視野を持ち社会に貢献する、
次世代を担うリーダーを輩出します。

● 英語で学ぶ教養科目　好きなテーマから世界とつながる

AIやSDGs、日本文化など関心の高いテーマを英語で学びながら、知識と語学力を同時に磨きます。日本語サポートもあり、英語で学ぶ楽しさを体験できます。

● Japanese Popular Culture（日本のポップカルチャー論）



日本のポップカルチャーの背景にある歴史や社会、文化について英語で考察します。

● Film Studies（映像論-2）



映画を題材に、映像表現と映画分析の手法を英語で学び、作品を深く読み解く力を養います。

● 協定大学拡充と多彩な海外研修

協定大学拡充により、留学の選択肢が充実。多彩な海外研修とあわせ、毎年500名以上の学生が海外で学んでいます。



マウント・ホリヨーク・カレッジ留学



海外ソーシャルワーク研究
（フィリピンで学ぶ国際援助）



新規協定校のノックス・カレッジ
（米国）

● 留学学生や外国人留学生への奨学金授与



02 生徒・学生支援

教育の充実、学生生活の向上を目指し、
皆様のご芳志を有効に活用させていただきます。

● 隈 研吾先生が語る —「建築プロジェクトの進め方」

建築を形にする発想や協働の大切さについて学び、創造的なものづくりへの理解を深めました。



●隈 研吾 教授



●講演会の模様

● JWUキャリアライフセンター開設

在学中から卒業後、さらに広く社会人の学び直しに至るまで、女性の豊かなキャリアライフを包括的かつ生涯にわたり支援します。



●グループディスカッション対策講座
就職活動やその後、社会に出てから活かせる力を身につけます。



●オンラインによる個別面談の実施

● 奨学金の運用資金等

・日本女子大学桜楓奨学金
・日本女子大学泉会学業支援給付奨学金
・森村豊明会奨励賞
・日本女子大学上代タノ奨学金　等

● 多様な学習活動



●コーラスクラブ



●探究学習

03 学園整備

子どもたちが安心して学び成長できる場を整えるとともに、
先進的な教育研究環境の整備・充実を進めてまいります。

● 多彩な学びを支えるための整備



●大学 第一体育館アリーナ床リニューアル





●中高演習室リニューアル

● 健やかな成長のための整備



●幼稚園
日よけのオーニング設置





●中高 屋外改修（屋上渡廊下、もみじ劇場）

04 社会連携

学生・生徒や卒業生、教職員などの人的資源および知的資源を活かし、
地域貢献、社会連携事業を推進します。

● JAL社員と考えるSDGs ～地域活性化～



日本航空社員による講義やグループワークを通して、SDGsや地域活性化について学びました。企業の実践的な取り組みにふれながら、地域課題の解決に向けたアイデアを出し合い、多角的な視点を養う貴重な機会となりました。

● 盛岡市の農業発展を目指す「文京区学生と創るアグリイノベーション事業」





盛岡県特産の黒豆「雁喰豆（がんくいまめ）」の商品・加工技術を開発。

05 附属豊明小学校創立120周年記念事業

2026年の創立120周年を期して、施設・環境の整備、海外の教育機関との国際交流事業・海外ホームステイなどの活動支援や創立120周年記念行事に活用させていただきます。

● 生活空間のユニバーサルデザイン化、専科教室の再整備



●こもれびらぼ
～KomorebiLab～



●洗面エリア
季節とともに桜の枝先が変化する様子を、各学年トイレの壁面タイルで表現

● 国際交流事業・海外ホームステイなどの活動支援



●JWU HOMEI Summer School



●ニュージーランド
ホームステイプログラム

● 豊明なかよしフェスティバル開催

2025.11.22



●異学年で協力してつくるフェスティバルを開催しました。

ご寄付とともに、
温かなメッセージをお寄せいただきました。
心より御礼申し上げます。

国際交流そして国際社会への貢献は大変重要だと思います。日本女子大学の一員として、ぜひその担い手となり活躍していただきたいです。(新35社)

主人の母、私、娘、孫と四代にわたりお世話になっております。女子大の存続が難しい時代ですが、是非これからもより発展しますよう願っております。(新17住)

● 学生からのメッセージ（奨学生の声）

皆様からのご支援により、奨学金制度を充実・運用しております。
奨学金を授与された学生からの感謝の気持ちを込めたメッセージをご紹介いたします。



エネルギーと環境に向き合って　H.A.さん（森村豊明会奨励賞2025年度採用者）

■ 理学研究科数理・物性構造科学専攻博士課程前期修了

大学院では、軽量で柔軟、かつ低コストな次世代型太陽電池である「有機薄膜太陽電池」を対象に、コンピューターシミュレーションを用いた分子設計の研究に取り組みました。特に、太陽光で発生する電荷が効率よく分離・輸送される仕組みに着目し、分子構造と性能の関係を解析しました。大学院修了後は、企業にて原子力やアンモニア燃料なども含めたエネルギーインフラに関わる業務に携わっております。大学院で培った論理的思考や経験を活かし、脱炭素と安定供給の両立に貢献できるよう、社会人として責任を持って歩んでまいります。

歴史研究と文化財保護の道へ　S.K.さん（森村豊明会奨励賞2025年度採用者）

■ 文学研究科史学専攻（現 歴史文化学専攻）博士課程後期修了

私は2009年に日本女子大学史学科に入学し、2010年から永村眞先生、藤井雅子先生のご指導のもと、日本仏教史の研究並びに諸寺院の文化財指定調査に取り組んでまいりました。これらの研究成果を博士論文「中・近世醍醐寺における顕密教学史」にまとめ、2026年3月に博士学位を授与されました。奨励賞の副賞は、博士論文の出版費用として活用させていただく予定です。あたたかいご支援にお応えできるよう、今後も日本の寺院に関わる歴史研究および文化財保護の道において、より一層精進してまいります。





K.A.さん（2025-26年度ウェルズリー・カレッジに協定大学留学）

■ 文学部 英文学科3年

私は昨年度、アメリカのウェルズリー・カレッジに1年間留学しました。留学先ではアメリカン・スタディーズを専攻し、アメリカの歴史や文化をはじめ、現代社会が抱えるさまざまな課題について学びました。また、大学のラクロスチームにも所属し、練習に励みました。ウェルズリー・カレッジでの学修やラクロスチームでの活動を通して、未知の環境に飛び込み、新しいことに挑戦することの大切さを改めて実感しました。そして、困難なことにも前向きに取り組む姿勢を身に付けることができたと感じています。皆様からのご支援のおかげで、自分の興味のある分野について学びを深め、留学生活をより充実したものにすることができました。この貴重な経験を通して得た学びや成長を今後に活かし、国や文化の違いを越えて、人と人、地域と地域を繋ぐことに貢献していきたいと考えています。



M.K.さん（2025-26年度ライデン大学に協定大学留学）

■ 国際文化学部 国際文化学科４年

皆様のお力添えのおかげで、新たに協定校に加わったオランダのライデン大学で、1年間の留学を実現することができました。現在は、アディソン・ニール・マシュー教授のご指導のもと、映画やメディアを通して、オランダにおける「寛容性」という理想が多文化社会の中でどのように機能しているのかについて、特に女性や移民の視点に着目しながら卒業研究に取り組んでいます。この貴重な留学経験を通して、国際的な視野を広げるとともに、一つのテーマを多角的に捉え、深く掘り下げて考える力を身に付けることができました。皆様のあたたかいご支援とご期待に応えられるよう、大学院への進学を経て、将来は国際連合で働くことを目指し、学びを深めてまいります。あらためまして、心より御礼申し上げます。

● JWU GLOBAL MEET-UP DAY開催

2026年7月11日　13:30～15:45

JWU Global Fund（国際交流基金）へのご支援に感謝を込め、「JWU GLOBAL MEET-UP DAY」を開催しました。当日は、留学を終えた学生による成果報告、留学予定者への奨学金授与、留学生の表彰・援助金授与に続き、支援者の皆様と学生・大学関係者が交流するパーティーを開催しました。国際交流の歩みと広がりを感じていただく機会となりました。



■学生発表



■交換留学生インタビュー



■第2部交流パーティー

STEAM・グローバル教育

STEAM（科学・技術・工学・芸術・数学）の5分野を横断する学びを早期から継続的に実践することで、課題を解決し、新たな価値を創造するために必要な力を養います。




●ニュージーランド語学研修（附属高等学校）




●バンクーバー語学研修（附属中学校）




●JWU Homei Summer School
（附属豊明幼稚園・附属豊明小学校）

「教育振興寄付金」ご支援のお願い

皆様のご支援は、教育プログラムの充実をとおして、学生の確かな成長と未来への挑戦を支えるために活用させていただきます。

募集要項

募集対象	卒業生、在学生保護者等、本募金の趣旨にご賛同いただける個人・団体・法人の皆様	
募集期間	年度毎（毎年4月1日～翌年3月31日）	
募集単位	1口　50,000円	1万円以上ご寄付の方にお礼の品を贈呈します。

複数口のご協力をいただけましたら幸いです。
1口未満のご寄付もありがたく頂戴します。

顕彰・返礼について

※返礼品は「個人」の方に限らせていただきますので、ご了承ください。

1万円以上ご寄付の方に「オリジナルペンセット」贈呈



クリップに三綱領

5万円以上ご寄付の方に「オリジナルミニトート」贈呈



本体/約W280×H180×D90mm　容量/約3L

10万円以上ご寄付の方に「JWU しあわせサブレ」贈呈



成瀬記念講堂のイラスト入りサブレです

- 大学広報にご芳名を掲載させていただきます。
- 「キャンパスニュース」のお届け

※写真はイメージです。

寄付のお申込み方法

① 別紙「寄付申込書」にご記入の上、返信用封筒でご返信

② ご入金（以下の方法をご利用いただけます）
- オンライン決済（クレジットカード・Pay-easy・コンビニ）
- オンラインバンキング
- 同封の払込取扱票（郵便局）

※領収書の発行日は、寄付金が本学に入金された日となります。11月16日以降のクレジット決済、および12月1日以降のPay-easy・コンビニ決済をご利用の場合は、入金が翌年になるため、領収書の発行日も翌年となります。

税制上の優遇措置について

個人の場合　**確定申告**を行うことで、**約40～50%の寄付金控除**を受けることができます。
5万円のご寄付で税額控除を選択した場合、**最大24,000円**が還付されます。

法人の場合　寄付金額が当該事業年度の損金に算入されます。

※法人からのご寄付はお申込み方法が異なりますので、以下のお問い合わせ先までご連絡ください。

ご寄付に関してご不明な点がございましたら、以下のお問い合わせ先までご連絡ください。

ご存じですか？『レガシーギフト』（遺贈寄付）

近年、生涯をかけて築き守ってきた財産を、社会や次の世代のために役立てたいという方が増え、遺言信託によるレガシーギフト（遺贈寄付）への関心が高まっています。特定公益増進法人である本学へのご寄付（財産）には、原則として相続税は課税されません。ご卒業の学部・学科へのご寄付や、奨学金に活用してほしいといった使途をご指定いただくこともできます。本学では、提携銀行と連携して、相続・遺贈のご相談をお受けしています。ご相談内容等の機密は厳重に保持されますのでご安心ください。

（提携信託銀行）　みずほ信託銀行　三井住友信託銀行　三菱UFJ信託銀行

Campus News

学園ニュース配信中！

特色ある取り組みを、学園ニュースで広くご紹介しています。
まだご登録がお済みでない方は、メールアドレスをご入力のうえ、お申し込みください。

お問い合わせ先
学校法人日本女子大学　法人企画部募金係
〒112-8681 東京都文京区目白台2－8－1　TEL：03-5981-3102　fundgrad@atlas.jwu.ac.jp